

## 神奈川県自衛隊殉職隊員追悼式 「殉職隊員のご冥福を祈る」

神奈川県自衛隊殉職隊員追悼式」を支援した。

朝方の雨もあがり秋晴れのもと、神奈川県内に居住する15名のご遺族のほか、地元首長など多数のご来賓と自衛隊関係者が参列するなか、陸海空63柱の御霊に対し哀悼の誠を捧げるとともに、参列者全員で殉職隊員のご冥福をお祈りした。

また、追悼式終了後は駐屯地近郊の「佐島マリナーレストラン」に会場を移し、神奈川県自衛隊遺族会「山ゆり会」の茶話会が行われた。本部長挨拶のあと、厳粛な追悼式が無事終了し、リラックスした様子のご遺族は互いの近況を話されるなど、終始和やかな雰囲気懇親会となった。

神奈川県自衛隊協力は「これらの支援を通じ、遺族支援業務の重要性を改めて認識するとともに、ご遺族にとって常に身近な存在として今後も遺族に寄り添い、誠心誠意の支援を継続していきたい」としている。



茶話会

## 陸上自衛隊武山駐屯地で自衛官候補生卒業式 「体力に自信がついたので、後期教育で活かしたい」

神奈川県自衛隊武山駐屯地を訪れ、当事務所の広報官である石村陸曹長が入隊ま(十七) 陸上自衛隊武山駐屯地を訪れ、当事務所の広報官である石村陸曹長が入隊まで導き、この日自衛官候補生として卒業式を迎えた山崎自衛官候補生を激励した。当日は小雨が降るあいにくの天候ではあったが、多くの家族が訪れて隊員と面談した。担当広報官も3ヶ月ぶりに本人と会い、成長した姿を見て「制服姿が凛々しいね」などと声を掛けると、入校中のきつかったことや楽しかったことを感慨深げに話してくれた。本人は、希望した職種と部隊に決まり、「ここで体力に自信がついたので、後期教育で活かしたい」「職種部隊の教育が楽しみです」などと笑顔で答えてくれた。

横浜中央募集案内所は、「このような行事に積極的に参加し、担当した入隊者を激励するとともに、今後も連絡を取り合い募集協力をお願いするなど、成果につながるべきです」としている。

生活隊舎で撮影に応じる  
山崎自衛官候補生(左)、石村広報官